

C200

200 Watt Powered Column Loudspeaker with an 8" Subwoofer,
4 High Frequency Drivers, Bluetooth Audio Streaming,
LED Lighting and Remote Control

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前の良にお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蠟燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2019 無断転用禁止。

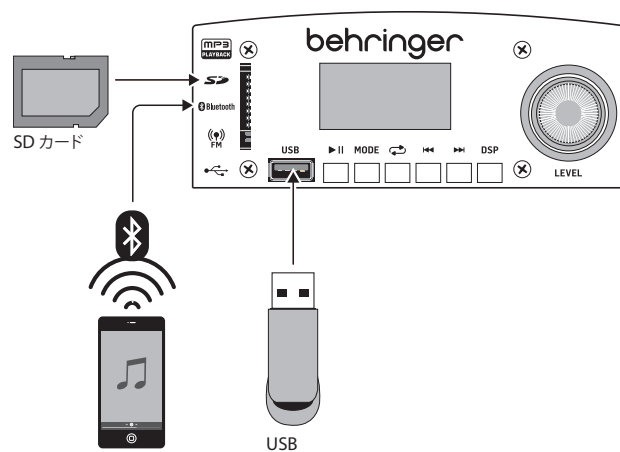
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

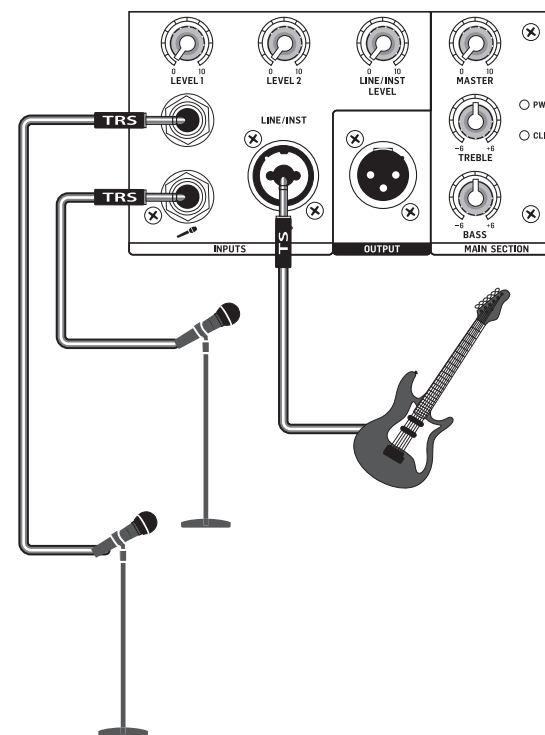
C200 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

SD カード、Bluetooth および USB 接続

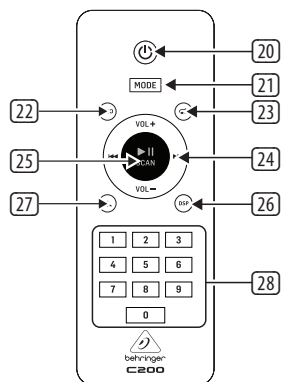
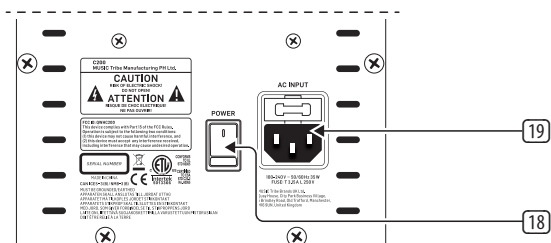
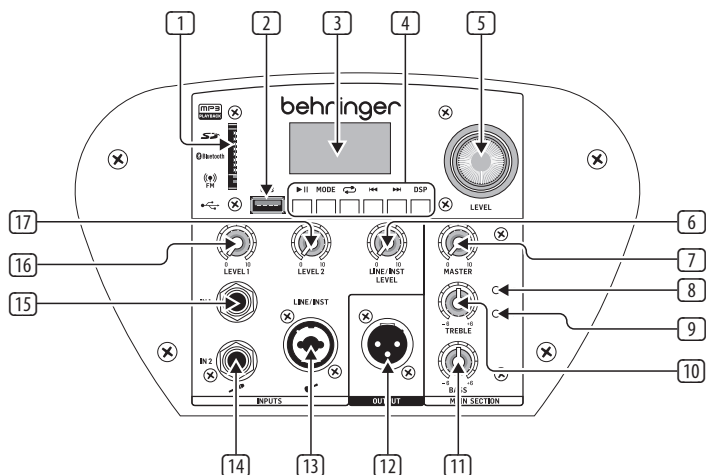


マイク / インストゥルメント接続

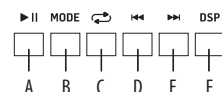


C200 コントロール

ステップ 2: コントロール



- ① **SD/MMC ジャック** SD (Secure Digital) または MMC (MultiMedia Card) フラッシュメモリーカードに保存しているデジタルオーディオファイルをプレイバックできます。
- ② **USB 入力** USB スティックに保存しているオーディオファイルをプレイバックできます。
- ③ **LCD ディスプレイ** 現在の DSP およびプレイバック設定を表示します。
- ④ **USB および SD/MMC 用のプレイバック部**には、以下のプレイバックコントロールが装備されています:



- A. **プレイ / 一旦停止:** 押すと再生、一旦停止、または FM ラジオチャンネルをサーチします。
- B. **MODE (モード):** このボタンを押すと USB、SD、FM ラジオおよび Bluetooth を切り替えます。
- C. **リピート:** このボタンで、ワン、ランダム、フォルダまたはオールリピートモードを切り替えます。
- D. **戻る:** 1 度押すと 1 つ前のソングまたは 1 つ前の FM ステーションに移動します。長押しするとデジタルボリュームを下げます。
- E. **進む:** 1 度押すと次のソングまたは次の FM ステーションに移動します。長押しするとデジタルボリュームを上げます。
- F. **DSP:** このボタンを押すと、デジタルイコライザープリセットをポップ、ロック、ジャズ、クラシック、カントリーまたはミュージックの間で切り替えます。

- ⑤ **LEVEL (レベル)** ロータリーエンコーダー最終的な DSP のボリュームと、USB、SD、FM ラジオおよび Bluetooth の信号レベルを調節します。押すとベース、トレブル、クロスオーバーまたはデジタルイコライザーの調節ができます。長押しするとミュートします。
- ⑥ **LINE/INST LEVEL (ライン / インストゥルメント レベル)** LINE/INST コンボジャックの入力レベルをコントロールします。

- ⑦ **MASTER (マスター)** レベル最終的なスピーカー音量を調節します。
- ⑧ **電源 LED** オーディオシステムが電源に接続され、スイッチがオンの時に点灯します。
- ⑨ **クリップ LED** 内蔵リミッターが信号ピークに反応すると点灯します。
- ⑩ **TREBLE (トレブル)** ノブ スピーカーユニットのトレブル周波数のレベルを調節します。
- ⑪ **BASS (ベース)** ノブスピーカーユニットのベース周波数のレベルを調節します。
- ⑫ **OUTPUT (出力) ジャック** LINE/INST 信号のコピーを XLR コネクターのバランスケーブルで送出します。
- ⑬ **LINE/INST** コンボジャック入力信号を XLR、バランス ¼ インチ TRS またはアンバランス ¼ インチ TS コネクター経由で受信します。
- ⑭ **IN2** ジャックマイクロフォン信号を ¼ インチ TRS コネクターのバランスケーブル経由で受信します。
- ⑮ **IN1** ジャックマイクロフォン信号を ¼ インチ TRS コネクターのバランスケーブル経由で受信します。
- ⑯ **LEVEL1** ノブ IN1 ジャックおよびワイヤレス Bluetooth マイクのインプットレベルをコントロールします。
- ⑰ **LEVEL2** ノブ IN2 ジャックおよびワイヤレス Bluetooth マイクのインプットレベルをコントロールします。
- ⑱ **POWER (電源)** スイッチユニットをオン / オフします。



オーディオシステムをオンにする前に、すべてのレベルコントロールを最小まで下げてください。システムをオンにした後は、スピーカーおよびアンプリファアーへのダメージを防ぐため、入力レベルをゆっくりと上げてください。

- ⑲ **AC INPUT (AC 入力) ジャック** IEC 電源ケーブルを接続する端子です。

C200 コントロール

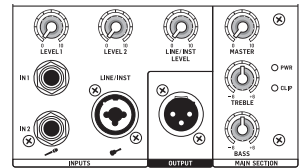
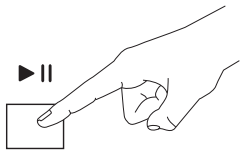
ステップ 2: コントロール

リモートコントロール

- [20] **電源ボタン** ユニットをオン / オフします。
- [21] **MODE (モード) ボタン** USB、SD、FM ラジオおよび Bluetooth の間で DSP を切り替えます。
- [22] **U/SD ボタン** オーディオファイルのプレイバック元を USB および SD/MMC の間で切り替えます。
- [23] **リピートボタン** リピートプレイバックモードを有効にします。このボタンを押してワン、ランダム、フオルダまたはオールリピートモードのいずれかを選択します。
- [24] **戻る / 進む / 音量リング** DSP ボリュームおよび、ソング間または FM ステーション間の 戻る / 進む をコントロールします。
- [25] **プレイ / 一旦停止 / スキャンボタン** オーディオのプレイバックを開始 / 停止します。FM ラジオモードでは、このボタンを FM ラジオチャンネルのサーチに使用します。
- [26] **DSP ボタン** デジタルイコライザープリセットを、ポップ、ロック、ジャズ、クラシック、カントリーまたはミュージックの間で切り替えます。
- [27] **ミュートボタン** サウンドをミュートします。
- [28] **数字キーパッド** さまざまな機能で数値を入力します。

C200 はじめに

ステップ 3: はじめに

- 1** お好みの場所にスピーカーを設置します。
 - 2** すべてのコントロールを下図のように接続します: TREBLE および BASS ノブは中央 (12 時) に; LEVEL 1、LEVEL 2、LINE/INST LEVEL および MASTER ノブは最小レベル (反時計回りいっぱい位置) にします。
- 
- 3** 必要な接続をすべて完了します。まだ電源はオンにしないでください。
 - 4** オーディオソースをオンにします (ミキサー、マイクロフォン、インストゥルメント)。
 - 5** **POWER (電源) スイッチ** を押し、スピーカーをオンにします。電源 LED が点灯します。
 - 6** デジタルオーディオファイルを保存している USB 機器または SD/MMC フラッシュメモリーカードを、それぞれ USB または SD/MMC 接続に挿入します。
 - 7** DSP 部のコントロールを使用し、**USB** ステイックまたは SD/MMC カードからデジタルオーディオファイルを選択して、プレイ/ポーズボタンを押してプレイバックを開始します。
 - 8** **MASTER (マスター) ノブ** を使用して、全体的な音量を調節します。
 - 9** アナログオーディオソースをプレイするか、通常のラウドレベルでマイクロフォンに向かって話しかけます。
 - 10** **LEVEL ノブ** および各アナログチャンネルのボリュームノブを調節して、アナログ信号のデジタルオーディオプレイバックに対するバランスを調整します。アナログ信号が歪む場合は、アナログチャンネルのボリュームノブを下げます。
 - 11** 必要な場合は、**TREBLE (トレブル)** および **BASS (ベース)** の EQ ノブを調節し、トレブルまたはベース周波数を好みに応じてブーストまたはカットします。
- 

技術仕様

Amplifier	
Maximum output power*	200 W
Type	Class-D
Speaker	
Woofer	1 x 8" (200 mm) LF driver
Tweeters	4 x 2.5" (64 mm) MF drivers
Analog Audio Connections	
Line in	1 x XLR / ¼" TRS combo jack, balanced
Impedance	20 kΩ, balanced / 10 kΩ, unbalanced
Line out	1 x XLR, balanced
Impedance	470 Ω, balanced / 220 Ω, unbalanced
Mic 1 / 2 in	2 x ¼" TRS, balanced
Impedance	10 kΩ, balanced / 4.7 kΩ, unbalanced
Digital Audio Connections	
USB	Type A
SD / MMC	Up to 32 GB supported
File system	FAT 16, FAT 32
Format	MP3 (DBR & VBR)
Bit rates	32 – 320 kbps
Sample rates	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz
Bluetooth**	
Frequency range	2402 MHz ~ 2480 MHz
Channel number	79
Version	Bluetooth spec 4.2 compliant
Output	4 dBm
Compatibility	Supports A2DP 1.2 profiles
Maximum communication range	15 m (without interference)
Loudspeaker System Data	
Frequency response***	55 Hz - 17 kHz (-10 dB)
Sound pressure level	Max. 106 dB SPL @ 1 m
Limiter	Optical
THD+N	< 1%
Equalizer	
High	±6 dB @ 10 kHz, shelving
Low	±6 dB @ 100 Hz, shelving

Power Supply, Voltage (Fuses)	
USA / Canada	120 V~, 60 Hz (T 3.15 A L 250 V)
UK / Australia / Europe	220-240 V~, 50/60 Hz (T 3.15 A L 250 V)
Korea / China	220-240 V~, 50/60 Hz (T 3.15 A L 250 V)
Japan	100 V~, 50/60 Hz (T 3.15 A L 250 V)
Power consumption @ ⅓ max power output	35 W
Mains connection	Standard IEC receptacle
Dimension / Weight	
Dimensions (H x W x D)	415 x 325 x 1380 mm (16.3 x 12.80 x 54.3")
Weight	UL: 13.3 kg (29.3 lbs) EU: 11.6 kg (25.6 lbs)

*Independent of limiters and driver protection circuits.

**The Bluetooth® word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc., and any use of such marks by MUSIC Group is under license.

***Average over stated bandwidth, Measured at 1 meter on axis.

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の

選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くになくときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You